

ZA0 EXPO' 22

選考基準概要

●審査委員会

審査委員長：佐藤雅宣

(一般社団法人とおがったプロジェクト 代表理事)

審査委員：菅野幸子

(AIR Lab アーツ・プランナー/リサーチャー、宮城学院女子大学非常勤講師)

関本欣哉

(ギャラリー「ターンアラウンド」代表)

永井京花

(一般社団法人とおがったプロジェクト スタッフ)

●選考方式

一次審査：書類による審査 / 25組程度まで選抜(締切後、1月末頃まで実施)

審査項目

- ・過去作品、ポートフォリオの独創性
- ・アーティストの将来を見据えた際の、本企画とのマッチング性
- ・提案企画と地域とのマッチング性
- ・表現ジャンルのバランス性

二次審査：面談による審査 / 20組程度まで選抜(2月より順次面談を実施)

審査項目(質疑)

- ・提案企画の詳細ヒアリング
- ・地域、土地との関わり方のヒアリング
- ・希望するインフラ、環境の詳細ヒアリング
- ・スケジュールの変更等のフレキシビリティ性

一次、二次審査を総合的に判断し、審査委員会推薦枠を5組決定する。(2月末頃まで)

三次審査：地域住民による投票 / 15組程度まで選抜(決定)(3月上旬中に実施)

一次、二次審査のプロセスを審査委員会にてまとめ、地域住民へプレゼンを行う。

地域住民による投票を行い、上位10組(+5組は審査委員会推薦枠)を決定する。

●審査結果通知

3月末までにアーティスト本人へ、選考理由を含めメールにて審査結果を通達する。

●審査に係るプロセスの詳細について

評価に係る部分

- ・キャリアの多さ、ネームバリューではなく、あくまでも「アーティスト・イン・レジデンス」の役割を旨とし、アーティストのキャリアアップとして本企画が有用であるか？を基準とする。
- ・提案企画をベースに、地域との融合性、親和性、地域における将来性、及びアーティスト自身のコミュニケーションスキルも評価の対象とする。

決定に係る部分

- ・審査内容を全て加味し、委員会内において「満場一致」を旨とする。
- ・意見が分かれた場合は、多数決による採決を実施し「3人以上」の賛成を以って可決とする。
- ・多数決による採決にて「2人」（半数）となった場合は、再度議論を重ね、多数決による採決を再度実施する。
- ・多数決で決定しなかった場合は、それまでの議論を総合的に加味し、委員長が判断を行う。